

# 九州かわとも

第5号  
TAKE  
FREE

## ■ 特集記事

九州地方整備局 藤巻局長インタビュー



## ■ 「川の先駆者」・五ヶ瀬川流域ネットワーク／前理事長 土井裕子さん

- 「流域じまん」・白川夜市(熊本県熊本市)
- ・六角川の魅力(佐賀県武雄市)
- ・コノハナロード延岡市民応援隊の活動(宮崎県延岡市)

九州かわとも

川あそび情報誌  
九州かわとも「やっぱり川へ行こう」

2022年夏号(Vol.5)  
2022年8月31日発行

編集発行：「九州かわとも」編集局  
事務局：九州河川協力団体連絡会議

# 九州の 川遊び情報募集集中！

九州の川で色々な活動をしている皆様！「九州かわとも」編集局までぜひ情報をお寄せください。  
お待ちしております。



川あそび情報誌「九州かわとも」事務局（一社）北部九州河川利用協会内

TEL : 0942-34-6733

FAX : 0942-32-6977

MAIL : kawatomo.mk@gmail.com

裏表紙の写真：佐賀県「松浦川」



# 対談インタビュー

九州地方整備局 樀長  
藤巻 浩之

特集

川あそび情報誌  
九州かわとも



川と触れ合う機会の多い夏。九州の川とともに働いてきた藤巻局長に「川に親しんできた人生」について聞きました。

中村 初めに、藤巻局長のお人柄のルーツ、幼少期の事をお伺いしたいのです。生まれました。父親は頑固一徹の仕事マンで、子どもの世話はあまりしない人でした。ですが、唯一の趣味である投網を打ちに川へ行く時は、私と一緒に連れて行つてくれたことがありますた。

藤巻 対照的な二つの経験を申し上げますね。私は昭和40年に神奈川県で生まれました。父親は頑固一徹の仕事マンで、子どもの世話はあまりしない人でした。ですが、唯一の趣味である投網を打ちに川へ行く時は、私と一緒に連れて行つてくれたことがありますた。

## 幼いころから川とふれあい

### 九州の川は、生物相豊か

事を「ああ、いいもんだな」と感じながら、ひと時を過ごしていた事を良く覚えています。

一方で、横浜の自宅の裏に「滝の川」という川がありました。通っていた小学校の、校歌の一番の歌詞で「笑顔が映る滝の川」といった一節があるので、もの見事な、ドブ川だったんですね。

ですが、1970年頃の話ですね。その頃は家庭の排水が川にたくさん流れ込んでいた、川の中にはビンやガラスが割れた物ですとか、得体の知れないタンクのような物が落ちていました。でも、クソガキですか、家に帰る時は遠回りして橋を渡るよりも、川の真ん中にある石を飛びながら渡る方が早いんですね。そんなことをして、調子に乗つてしまつて、見事に川の中で擦りむいたり、切つたりするんです。当時まだ破傷風ですか普通にあつた頃ですから、家に帰つて母親からこっぴどく叱られて、もう、しみるのなんのつてくらい、赤チンを塗られました。

中村 喜ばれたと思いますね。我が家かります。お父様がご近所の方々に魚をお裾分けされたときには喜んでいました。

藤巻 ありきたりなんですが、父親が商売をやっていた事もあって、逆の話でサラリーマンになりたいな、という漠然とした思いはありましたね。もしぐ家を飛び出して、日暮れまで遊んでそんな子どもでしたね。小学校5年生から友達に誘われて始業前のサッカーを始めました。身長はそんなに大きくなかったんですが、中学校3年間で28センチ伸びたんです。

中村 今のお仕事に就かれるまでの気持ちの変化と、きっかけを教えてください。

藤巻 中学の頃から国語よりも算数、社会より理科が好きだったので、今まで理系だったんでしようね。そういう組みに興味が湧いてきて、大学を

も決して裕福ではなかったので、食卓に肉が乗るという事がほとんどないわけですよ。ですので、そんな時に親父が獲つてくるアユ、こちらの九州のアユに比べるとまだだと思うんですけど、町なかの人からすると、とても喜ばれたんじゃないかなと思いますね。

中村 ご近所との助け合いのお話を、温かい気持ちになりました。その頃は、どんな夢を持っていらっしゃいましたか？

藤巻 ありきたりなんですが、父親が商売をやっていた事もあって、逆の話でサラリーマンになりたいな、という漠然とした思いはありましたね。もしぐ家を飛び出して、日暮れまで遊んでそんな子どもでしたね。小学校5年生から友達に誘われて始業前のサッカーを始めました。身長はそんなに大きくなかったんですが、中学校3年間で28センチ伸びたんです。

中村 好きなことから発展して今に繋がっているんですね。九州にいらして、九州の環境と川に触れてどのようなことを感じておられますか。

藤巻 私が生まれた関東や、学生時代を過ごした近畿と比べると、九州の川は温暖な気候に恵まれて生物相が豊かだと思います。日当たりや雨の降り方を見ても、九州は自然が豊かだな思いますね。

関東と比べて思うのは、大きな川でも筑後川くらいで、基本的には小さい川が多いですね。九州山地から東か西に流れてるので、川が短くて、おそらく急流ですね。あつという間に洪水になりますし、渴水になるなど感

じます。

九州独自の、火山噴火で形成された地形や地質によって、「川成り」が決まっていました。阿蘇や桜島、霧島が、何万年にわたって噴火して積みあがった上にできている川ですから、洪水中に土砂が入っている量が多いですし、何か物を造ろうとすると、おそらくいぐらに軟弱な地盤に対応しなければならないですよね。

最初は武雄工事事務所に入り、有明海に注いでいる六角川や嘉瀬川の仕事の端っこくらいを担当していました。地盤つこくらいで軟弱地盤なんですが、一般的に軟弱な地盤には、鉄ででき下40mくらいまで軟弱地盤なんですね。一般的に軟弱な地盤には、鉄でできた長さ15m程の金属板「矢板」を差しこんで、地盤を強くするんですが、それを地中に打つ際に、上から抑えながら入るので、普通は非常に難渋するんです。しかし、嘉瀬川や六角川の周辺は、矢板を置いただけで、自分の重さでズブズブと地中に入していくくらい柔らかいんですよ。

九州では建設省に入る前の年に2000軒以上の家屋が浸水する未曾有の洪水が起きました（平成2年7月豪雨）。そこで、計画を抜本的に作り直して、堤防を造らないといけない事になりました。それまで、六角川の堤防は繋がっていなかつたんですね。なぜかというと、大変な軟弱地盤のため、その上に高さ1mの堤防を造ると、50cm程沈む、2m以上の堤防を造ると重すぎて滑って崩壊してしまうことになりました。

一方で、九州の土質は、火山と切っても切れませんね。桜島の噴火でできた地盤は、川の流れで削られやすかつたりします。川底を掘って、掘ったその土を盛つて堤防にするのが昔のやり方でしたから、堤防が火山灰でできている川がいく度は本省からも最初は「何事だ」という事を言わされました。

結果的に皆さんに頑張って頂いて、その計画に沿った形で改修がなされました。その当時の発想にはなかつた川の中に木を残すとは何事だ」という事を言わされました。それでも部下と一緒に計画を詰めて、計算上はそれでいいわかったたという話に本局はなり、建設本省に話をあげて頂けたのですが、今はご苦労お掛けしたと思います。

中村 地元の方々にとって、木々のある景色が日常にあるので、一本の木でも無くなると悲しくなるわけですね。

中村 地元の方々との触れ合いの中で感じたことを形にされたのは素晴らしいと思います。

藤巻 その場所で今では「白川夜市」が開かれたり、日頃の散策等にも使って頂いています。今、夜市をやっているあたりが、当時、自分たちが地域の皆様に頭を下げて回った場所なんです。聞くところによると、河川改修完了前後から、マンションのベランダが川に向いて造られるようになり、川側にベランダが向いた部屋が人気を集めているらしいんです。そういう話を聞くと、頑張った甲斐があつたなと思います。普段使いをして頂きながら、

つかあります。そういう点で、管理していく上では独特ですし、難しさがありますね。

中村 地域ごとの個性に色々と苦労されておられるかと思います。九州の川でお仕事をされて、一番大変だった事を教えて頂けますか？

藤巻 六角川では建設省に入る前の年に2000軒以上の家屋が浸水する未曾有の洪水が起きました（平成2年7月豪雨）。そこで、計画を抜本的に作り直して、堤防を造らないといけない事になりました。それまで、六角川の堤防は繋がっていなかつたんですね。なぜかというと、大変な軟弱地盤のため、その上に高さ1mの堤防を造ると、50cm程沈む、2m以上の堤防を造ると重すぎて滑って崩壊してしまうことになりました。



当時、軟弱地盤対策（地盤改良）を日本一行つている事務所でした。その壮大な取り組みの結果、軟弱地盤対策に関する全国標準の仕様が完成しました。

も渡つて試したんですね。それを横で見ながら「凄いな」と思つていました。当時、軟弱地盤対策を日本一行つている事務所でした。その壮大な取り組みの結果、軟弱地盤対策に関する全国標準の仕様が完成しました。

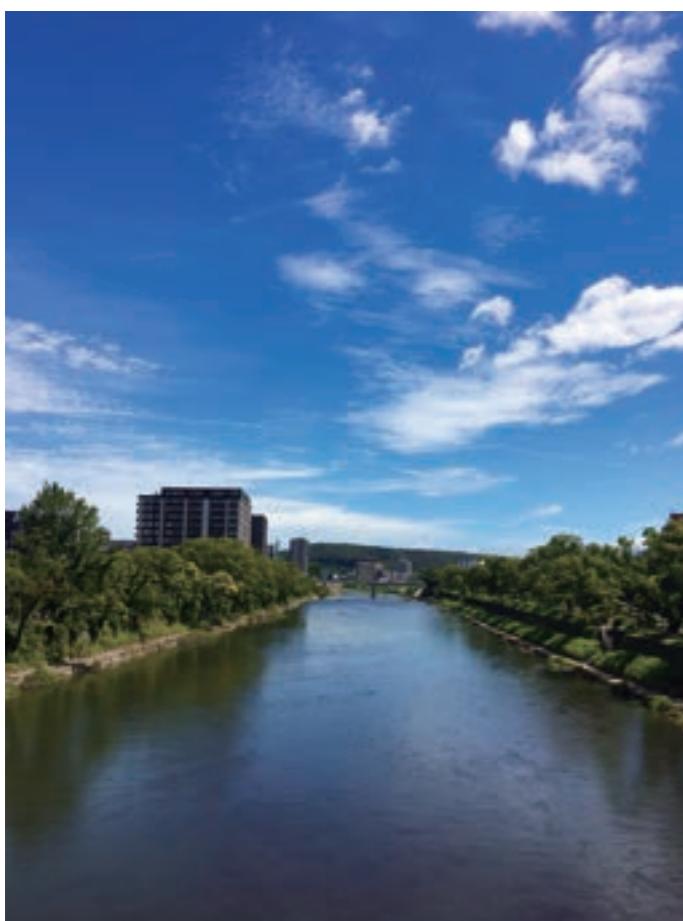
中村 何もない所から繰り返し実験を行つた結果、全国の大きな課題に光が差しました。

藤巻 そうなんです！その取り組みを横見ていて、とても勉強になりました。

二つ目は、熊本の白川の改修です。私は熊本の事務所に赴任して初めて部下をつ持ちました。その頃、熊本の市街部を流れる白川の河川改修が至上命題だったんです。堤防が築かれていない区間が市街地沿いにあり、川沿いには、楠や桜などが多く植えられていて、下流の橋から見ると川の背後に立田山があつて、その景観がまさに熊本のシンボルのような場所でした。

多くの先輩方が、何回も改修計画案を出したんですが、桜や楠などを切つて堤防を造る内容でしたので、地元の人から反発を受けていました。

そこで、平成9年に、なんとか当時の



熊本市白川沿いにある「緑の区間」

実は治水安全度が高まっている川といふのは嬉しいですね。なかなかそういうケースには巡り会う事が少ないんですけど。

中村 川に対する情熱と行動力で今があるんですね。

藤巻 僕らの仕事って、河川にしても、道路にしても、港にても、10年単位でしか出来上がつていませんよね。

その中で、一人が関わる期間はそのうちの2、3年です。凄く多くの人達でバトンリレーをしながらやっていく感じですね。そして、後から現場に立ち寄った時に、治水と環境が見事にマッチしていますね。



子ども達の体験活動で賑わう中無田閘門(緑川水系)

チしている川を見ることができたらとても嬉しいですね。

松浦 そういう根気強さや、思いが強くなるエネルギーは、どこから湧いてきましたか？

気なというか、オペティミストな性格なんだと思います。

中村 上司や先輩に憧れるというのは、具体的にはどういうところでしょうか？

藤巻 僕はこれまで恵まれた公務員人生を送ってきたと思ってますよ。ずっと上司に恵まれてます。そりやたけど、そういう人達の仕事ぶりを見ていると、こういう係長や課長や所長になりたいとか、30数年来、多かれ少なかれ感じ続けているんですよ。もちろん新しい所への赴任は不安もありますが、どこかそういう所で、能天

り判断して頂いて、困っていたら、思ひもよらないアイデアやヒントを頂いて……。男が男に惚れるじゃないですか、「すごいな、この人は」と思う

わけですが、「すごく思いますね。目的と手段をはき違えないようにしないといけませんね。

中村 そうですね。全く違う結果になります。

りかねませんね。九州の事を一生懸命考えて務めてこられたというのがわかります。

松浦 ココからは夢の話などを沢山お伺いしたいと思います。

まず、九州がすごく好きだと伺いましたが、九州の川の未来予想図を教えてください。

藤巻 繰り返しになりますが、川に人が普段から立ち寄つて頂けるようになると良いですね。散策だったり、「水辺で乾杯」だったり。ゴルフでも野球でも良いですね。色々な形で水辺の空間を、そこに住まわれている方々が使って頂き、そうしつつも、いざ洪水が来るという時は、低い所に住む方は逃げ



中村 それは藤巻局長のお人柄もあるんじゃないでしょうか。

藤巻 コロナが流行して、人と会えなくなつて、つくづくと思ったのですが、私という人はいかにコレで（飲む動作）仕事をやつてきたのか、これで（しゃべる動作）仕事をやつてきたのかということです。

松浦 そうなんですね。藤巻局長は、お酒はお好きですか？

藤巻 お酒は好きですね。ただ、緊急事態宣言が出て外で飲めず、宿舎に戻つて、野球のナイター観ながら缶ビールを飲みましたけど、美味しく感じなかったですね。やはり、注いだり注がれたりをしながら会話をしないと。そういうと、お酒が好きなんじやなくて、一緒に飲む人がいて、いろんな話をする事が好きなんだと改めて気が付きました。

中村 お酒は目的ではなく、道具という事ですね。

中村 川に触れながら、楽しい情報に加えて、いざという時の話も当たり前に共有可能になるれば、川への理解を深めることができると感じますね。

藤巻 そう思いますよ。やっぱり、知らない事が一番の悪だと思います。「川つてこんなに面白くて楽しい所なんだ」という事を知つて頂きたいし、一方では川の中には怒ろしい流れもあって、ましてや洪水が起きた時には自分の家がどうなるのか、という事も分かつて頂きたいです。その為にも、私たちがもっと情報を出して行かないといけないと感じています。

そして、我々河川事務所が伝える以上に、お二人のような地域の方が市民目線の言葉で物事を世の中に伝えて頂くよう形だと、伝わり方が違うんですよね。第三者の言葉で語つて頂く事が、ものすごく効くんです。

私は、「安全になりました！ 洪水が起きません！ でも人は誰もいません」という川は良くないと思います。お天気

藤巻 そうですね。最近、流域治水という言葉が広がつて、人それぞれに捉え方があると思うんですが、私は「人と川との繋がり」も流域治水だと思うんですよ。川は普段使いの中では良い

市民目線で、より近い言葉で伝えて頂けるし、我々のやりたい事や伝えた事を十分にかみ砕いて頂いた上で伝え頂けるから正しい事が伝わっています。こんなに良い事はないんです。しかし、運悪くそんな方々と巡り合えない職員もいるんです。ですので、皆さんの伝える力は本当に有難いです。

**松浦** 河川協力団体の役目がそこにあります。河川管理者の方と一緒に正しい情報を広く伝えていきたいです。

**藤巻** どうしても一般の方には、役人に対する先入観がありますよね。警察官はどんなにニコニコしていてもおつかないですし、役人もニコニコしても信じてもらえない人もいるかもしれない。町の中で普段からお付き合いをされていて、そういう方同士でお話が合う時ってあるじゃないですか。ですから、河川協力団体の皆さんには本当に有難いですよ。

私は10年くらい前ですが、本省での河川情報の仕事をしていた時に、多くの気象予報士さんに助けて頂きました。あの方々の影響力ってすごいんですよ。毎日テレビで出てるじゃないですか。そんな人が「困った時はスマホやパソコンで、川の防災情報のホームページを選ばずに色々な手を考えていきたいな



子ども達が河川を学ぶ体験プログラム

五ヶ瀬川水系の清流をカヌーで楽しむ

ページを見てくださいね」と話してくださいになりますね。社会に対する影響力を考えると、第三者の皆さん程有難い方はないです。

**松浦** 「九州かわとも」には、九州各地の流域じまんを載せているんですけど、事務所の方々も移動が3年くらい。移動された方々のSNSを見ると美味しいものが沢山出てくるんですね。そういう情報も共有させて頂けると嬉しいです。

**藤巻** そうですね。逆に地元じゃないよそ者だからこそ、地元の方では当たり前すぎる世界になっている中に、これ

前すぎた世界で、どのような体験が印象に残っていますか？



河川管理者と河川協力団体との意見交換の場

**中村** 各地の河川で活動されている方々との交流で、どのような体験が印象に残っていますか？

**藤巻** 色々ありますけど、カヤックですかね。実際に漕いで川から街を見るのはいいですね。父親の投網に付き合わされたものもあるかもしれませんね。水辺で乾杯はもっと好きですが。

作る過程も面白かったです。

**人々が川に触れあえる機会を増やすことができるよう取り組みを色々と考へていきたいと思います。**

さい頃は水遊び、高校になつたら通学路で、親になつたらベビーカー押して散策をして、普段の生活の中で川にいかに気づいて頂けるかの「きっかけ」を、手段を選ばずに色々な手を考えていきたいな

**藤巻** まだ体験した事のない方にも、ぜひ体験して頂きたいですね。

**中村** カヤックでも、SUPでも、舟下りでも手段は何でも良いんですけど、川側・海側から街を見て頂くという経験は

どう思います。

皆さんのお知恵を借りながら少しでも多く機会を設けられたら良いと思いますね。場所によって仕掛け方も違うでしょうし、触れ合えるチャンスは色々とあるんじゃないと思います。

**中村** 河川協力団体のような地域で活動する人たちも、安全に遊ぶ情報を発信できればと思つてやつています。皆で協力を進めていくといいます。では最後に、藤巻局長を日々サポートしておられる奥様へのメッセージを頂けますか？

うすると、ある程度の割合で面白いと思つていただけるんじやないかなと思うんですよね。ぶらっと立ち寄るだけじゃなくて、皆様のようなそのみのプロにご案内頂いたりとか。「水辺の国勢調査」で川の中の虫を調べたりするじゃないですか。小学生や幼稚園児に来ていただき、見事なくらいに転勤先に溶

ましたけど、見事なくらいに転勤先に溶

は美味しい・珍しいですねというようなことになりますね。

**中村** そうですね。ではここで、「かわとも」読者の皆さんにメッセージをお願いいたします。

ぜひ若手のうちにして頂きたいなと思います。風景がちがうし、意外と川ってゆつくり流れているな、早く流れているな、見て頂けると思います。日本人

100人いたら、そのうち何人が川から街を見た事があるんでしょうかね。いい天気の日にそういう経験をしたら人生変わること思うんですよ。

八代で勤めていた時に、地域の方々のグループと一緒に、八代駅から歩いて行ける「旨いものマップ」を手書き調で作りました。それを駅に来た人に渡してその中に「川の名所」や「水機ねの場所」なんかを書き添えて川にも立ち寄つてもらえるようにしました。情報交換じやないですか。そういうのを地域の方々と一緒に書きました。川にも立ち寄つてもう一度立てるよ。

河川管理者と河川協力団体との意見交換の場

**藤巻** 川って基本的に神様が造ったものに、私たちがちょっと手を加えていませんけど、道路と比べると手を加えていませんし。その後は単身赴任が主になりますが、家族もうまく周りの方々に受け入れて頂けたのも有難かったと改めて思いました。

そういう意味では、一回行って頂いて、水辺に触れて、少しでもいい体験をして頂けると、なんとなくリピーターになつていただけそうな気がするんですね。それは先ほど言つた普段使いで、小さい間隔があいて訪れたりしたら、同じ場所なのかな?と思う事があるほど、「生き物」なんですよ。

**中村** まだ体験した事のない方にも、ぜひ体験して頂きたいですね。

**藤巻** カヤックでも、SUPでも、舟下

りでも手段は何でも良いんですけど、川側・海側から街を見て頂くという経験は

乾杯はもっと好きですが。

け込んでくれて有難かったです。子どもは子どもで、子ども外交をしていました。その後は単身赴任が主になりましたが、家族もうまく周りの方々に受け入れて頂けたのも有難かったと改めて思いました。

そういう意味では、一回行って頂いて、水辺に触れて、少しでもいい体験をして頂けると、なんとなくリピーターになつていただけそうな気がするんですね。それは先ほど言つた普段使いで、小

い間隔があいて訪れたりしたら、同じ

場所なのかな?と思う事があるほど、「生き物」なんですよ。



インタビューを終えて

前向きに夢を実現されてきたリーダーの背中は、次世代の方々の道標となつて得た「思いやりと信頼」の関係は、「日常の幸せ」と「安全面」に妥協しない藤巻局長の信念となつていて感じました。

ご家族をはじめ、沢山の方々と交換し得た「思いやりと信頼」の関係は、「日常の幸せ」と「安全面」に妥協しない藤巻局長の信念となつていて感じました。

ぜひ若手のうちにして頂きたいなと思います。風景がちがうし、意外と川ってゆつくり流れているな、早く流れているな、見て頂けると思います。日本人

100人いたら、そのうち何人が川から街を見た事があるんでしょうかね。いい天気の日にそういう経験をしたら人生変わること思うんですよ。

河川管理者と河川協力団体との意見交換の場

# 川の先駆者

理事長



## 土井 裕子さん



NPO法人  
五ヶ瀬川流域ネットワーク／前理事長

昭和27年4生まれ。宮崎県延岡市出身。平成14年4月～令和4年3月までNPO法人五ヶ瀬川流域ネットワークの理事長を務めたほか、宮崎県水防協議会委員や宮崎県文化財保護審議会委員等を歴任。現在、一般財団法人有田・井上文化財団理事長。

小学生の頃は、自宅の裏を流れる五ヶ瀬川に入り、父がチヌを釣るエサ用のエビを獲っていました。エビ4匹で1円のお小遣いをもらいました。当時は粗朶沈床（そだんしょう）で根固めをされていて、蛇籠等にエビやカマツカ等の魚が群がっていましたが、今では随分と様子が変わってしまいました。根固めがコンクリートになり、川に近づけなくなったのは寂しいです。

大学進学を機に、一旦地元を離れましたが、29歳で帰郷しました。その後の河川改修計画を作る「北川川づくり検討委員会」に、住民代表として参加をさせて頂く事になり、専門家や関係機関の方々と一緒に、被害を受けた河川の再建について議論をする中で、多自然川づくりについてたくさん学ぶことができました。

その直後の9月。台風19号による豪雨で、五ヶ瀬川支流の北川が激甚災害の指定を受けました。その後の河川改修計画で、河川の両端を持つてノボリコ（ハゼの稚魚）獲りをしたのですが、自然活動に慣れているはずのガールスカウト達が、石ゴロゴロの河川敷や水中を歩くのに苦戦していました。その時「良い川があるのに体験の機会が少ないのではないか？」と、思った事が五ヶ瀬川での活動の始まりです。ガールスカウトのリーダーと「リバーフェスタのべおか」という川遊びのイベントを始めて、その後、若い世代に引き継がれて、名前も変わったのですが35回を数える事ができます。

## 川の変化以上に、山の変化



### アートと水辺とまちの融合

新しい水辺文化の楽しさを創造する取組が「東海さるく」です。かつては千石船の基地として発展した東海地区を舞台に、国内外からアーティストを招き、創作活動や作品展示、地域の人達との交流の機会を設けています。学生時代に建築を学び「界限」の再建に興味を持ちました。水辺や昔ながらの路地の魅力がコミュニティ作りに活かせればと思います。

### 流域的視点を持つて

平成4年、京都での世界水フォーラムに参加をした際下河辺淳先生が「今後国土づくりは、源流から河口まで流域を一体として管理する『流域単位の国土管理』が必要だ」というお話をされました。おかげで山から海までの人々の暮らしをつなげる流域連携の大

きな目標を、活動開始期から掲げ、さまざまな交流事業や、川や環境に関わる全国大会も事務局を受けて誘致しました。

「リバーフェスタのべおか」の開催や川づくりに関わる中で、私の子どもたちに比べると、あまりにも川の形や様子が違う事に気付き、河川環境管理財団（現・河川財団）の助成事業で、五ヶ瀬川の変化について2年間、流域の調査を行いました。

### ネットワークを設立

そんな時、友人からアメリカではNPOが地域で支えている雇用がたくさんある事を聞きました。流域の調査に協力してくれた仲間達と「中山間地域で誇りを持つて食べていける産業を作りたいね。」という話になりました。そのタイミングで「資料館リバーパル五ヶ瀬川」の管理運営の業務を受託する事になりました。調査論文に込めた思いが評価されたのです。そして、NPO法人五ヶ瀬川流域ネットワークが誕生しました。



くまもと  
くまもと  
熊本県熊本市



# 白川夜市

-shirakawa night market-



私はアメリカのニュージャージー出身です。暑い夏には地元のデラウェア川に入つて遊んでいました。今は熊本市に住んでいます。ある夏の日、近くの白川を歩いていて「川の中は気持ちが良さそうだな」と思い、周りの人達に話してみました。そうすると、「危ないよ、汚いよ」と言われました。その時、皆さんとの川に対する認識の差に驚きました。「ボタンシャルの高い白川を活用したいな。」と思うようになりました。

平成27年、国土交通省と熊本市が、ミズベリングの取組みで「緑の区間」を会場にマルシェを開催し、私はそこに出店者の一人として参加しました。

会場が町の中心部で、市電が走つていて人通りが多く、川のそばなので景色も良いし、飲み食いをして、とても気持ちが良かったです。

こんな催しを継続したいと思い、仲間達と「Shirakawa Banks」を設立し、「白川夜市」を計画しました。「bank」とは、土手や川辺を意味します。この響きも気に入っています。

白川夜市の立上げを支えてくれたの

## 「白川いいね」の声いつぱい

白川夜市は平成30年に始まり、平成31年3月から11月までは、毎月開催しました。飲食店や雑貨店等、地元の店舗を中心に出店するので、店の宣伝や新規顧客の獲得にも一役かっています。地域経済に活気が出るし、来場客の皆さんには場所の良さを感じてもらえます。年配の方は昔開かれていた夜市を思い出したり、小学校では子ども達の話題になつたりしているそうです。



その中で面白い取り組みの一つがKumamoto Turboという団体の「子ども社長」です。大人と同じ出店料を払い、物販やゲーム等を提供します。終了後には売上を分析し、原価や経費の計算、集客方法等を話し合います。本物のビジネスを学ぶ機会になります。

熊本大学の学生が、アンケート調査をしたところ、夜市を機に白川を身近に感じたり、自分の中での存在感が大きくなつたりしているようです。来場客の皆さんからも「白川いいね!」といふ声を聞く事ができます。日常的に川辺を散歩をする人達も増えており、変化が生まれつつある事に、さらなるモチベーションが生まれています。

令和2年以降、新型コロナウイルスが流行した中でも、感染対策を徹底した上で、タイミングを見て開催しています。受付済みの印で配布した光るブレスレットが写真映えするからと、数多くSNSに投稿してもらいました。

また、参加者同士の間隔を空ける為に食事スペースを工夫しました。川岸の手すりにタープをつけ、その裏に照明を付けると、感じの良い間接照明になりました。ちょっと工夫する事で新しい雰囲気も生まれ、感染対策にもなる取組ができました。

## 地域行事という視点

### 白川野宿も

活動で大切なのは、皆の公園を使っている意識です。自分たちのビジネスの為だけでなく、周りの人達と一緒に楽しむ観点が必要です。その為に「緑の区間利活用推進協議会」があり、私達、地元住民、国土交通省、熊本市、土木センター、大学の先生等が入っています。多くの方々の合意の下で企画を開催しています。また、参加者各々が催しを告知するので、宣伝効果も高いです。

出店者には日頃から会場をきれいに保とうと伝えています。その一つが会場や周辺の除草です。定期的な除草は公園利用のしやすさにも繋がります。この事が地域から歓迎され、夜市を応援してくれる人も増えました。地元高校生も参加しています。ボランティア証明を発行し、受験の際に役立ててもらっています。まさにワインワインの関係です。

今後も夜市を毎月継続しながら、イベント感のあるコンテンツ等も充実していきたいです。また、夜市は月に一度の開催なので残りの日の活用も増やしたいです。「白川野宿」というキャンプを開催し始めました。バーベキューや朝市もやりたいです。



Jason D. Morganさん

その為に労力を増員する必要があります。私達は活動を継続するために出店料で成り立つ事業にしています。出店料を相場より高めに設定したり、所有する草刈機で太陽光発電所の草刈を受注したりして費用を捻出しています。川でビジネスが成り立つ仕組みづくりをしています。

この活動は、ボランティアでは継続が難しいです。Shirakawa Banksのメンバーは、内装業、住宅メーカー、不動産業に従事していて、白川夜市で生まれた縁を自身の仕事にうまく結びつけています。そういう人たちがコアになると継続できるかなと思います。また、まちづくりセンターが地元にいるビジネスボタンシャルの高い方と私達とを繋いでくれています。こういう事も大切なと思っています。

「かわとも」読者の皆様で、水辺で活動を始めたいたいと思つている方は、ぜひ、地元のニーズを聞いて、同じようなパッション(情熱)を持つていて仲間を探してください。チームと地元の人達とが密着して進めていると周りの人々が活動を支援してくれたり、活動を各地に伝え広げたりしてされることと思います。



# 流域じまん

発地域

## 「低平地河川六角川と池ノ内湖の水環境活動」

九州で川といえば「山地河川」です。「低平地河川」を理解できる人はそう多く無いかもしれません。かくいう私も、三隈川（筑後川中流）清流育ちです。60年前、武雄河川事務所に赴任し、六角川にカルチャーショックを受けた一人です。

2003年、世界水フォーラム日本開催を契機に立ち上げた「佐賀水ネット」、来年で20年を迎えます。その間、一貫して「低平地の水管理」を求め活動してきました。それは世界水フォーラムにおいて、佐賀県のセッションテーマが「低平地の水管理」だつたからです。



### 低平地河川六角川との出会い

### 武雄市「池ノ内湖」での活動

六角川流域では、そのモデル的活動が白石町「縫ノ池」と武雄市「池ノ内湖」の2カ所で行われています。ここでは池ノ内湖を紹介しますが、多様なメンバーが集まり・多面的に活動していることを紹介していきます。池ノ内湖は、幕藩時代の土木学者・前田伸右衛門が関わった、歴史ある農業用ため池です。

湖面積10ヘクタール・用水量58万トン、流域を代表する規模容量を有しています。

旧武雄市では、湖の周辺を「第2温泉街・池ノ内保養村」とし、泉源3カ所を掘削し公共の宿説致や、佐賀県立宇宙科学館の建設などを進めてきました。

清流に対し、低平地河川は泥川見えます。一見、取りつき難いですが、付き合えば付き合う程、優しい川であることが見えてきます。ただ三隈川のように、下帯一つで走り込めるような開放性はありません。それは水面といるからです。そのような状況の中で、流域の子どもたちが水と触れ合う環境は、地域に無数に在るといわれる「農業用溜池」に向かわざるを得ません。



「せせらぎプロムナード」乱舞するホタル

スコーレーゾーンとして、多くの皆さんに、自然体験学習のエリアとして今後も大いに利用していただきたいと考えています。その状況の中で、平成に入り急速に進む高齢社会に対応するため、当時東独のバーデンバーデンをモデルとした温浴療養施設・アネックススポーツランド」を建設しました。その計画の中、池ノ内湖の上流にある兄弟池・童池との間に、農用水路を活用した「せせらぎプロムナード」を開発し、散策路を整備しました。このせせらぎは、とても生物相の濃い流れで、池ノ内湖への在来魚種の供給や、ホタルやカヤネズミなども確認されています。保育園児や小中学童の自然体験学習に、

活用されるかけがえのない清流空間です。

池ノ内湖 活動コンセプト・活動内容  
スコーレーゾーンとして、多くの皆さんに、自然体験学習のエリアとして今後も大いに利用していただきたいと考えています。その状況の中で、平成に入り急速に進む高齢社会に対応するため、当時東独のバーデンバーデンをモデルとした温浴療養施設・アネックススポーツランド」を建設しました。その計画の中、池ノ内湖の上流にある兄弟池・童池との間に、農用水路を活用した「せせらぎプロムナード」を開発し、散策路を整備しました。このせせらぎは、とても生物相の濃い流れで、池ノ内湖への在来魚種の供給や、ホタルやカヤネズミなども確認されています。保育園児や小中学童の自然体験学習に、

### 試行錯誤の外来種駆除活動

外来種駆除は、試行錯誤の連続でした。魚釣り大会から始まり、農業用の育苗コンテナを再用した産卵床を仕掛けました。この産卵床は、ボートデッキ水面下1メートルに水平に仕掛けることが最適であることが、武雄高校科学部の実施調査で証明されています。最終的に5年に1回行つた池干し作業で、放流終樹で全数すくい上げ調査・駆除するこことで、現在外来魚絶滅状態に追い込んでいます。今後も調査継続することが必要と考えています。



「産卵床」  
水稻育苗床を利用し地元農業者と武雄高校科学部が製作

### 水環境継承プログラムを進めたい

池干し作業は、鮒・鯉などの在来魚を全数すくい上げ、架設池に運搬し池の水が復旧して戻す、という大変な作業が待っています。広域的イベントにしきる皆さんのが参加を得なければ成就できないことがあります。小中学生の水体験学習や、佐賀県立宇宙科学館の学芸員・武雄高校科学部の調査学習のフィールドとして、今後も共有していくたいと考えています。その他にも、武雄河川事務所と佐賀水ネットは、六角川関連の公有水面への外来魚侵入防止のため、全数駆除を目指していきます。さらに、九州大学・福岡大学・佐賀大学など若いメンバーが、高齢化する地域を力強くサポートしてくれています。

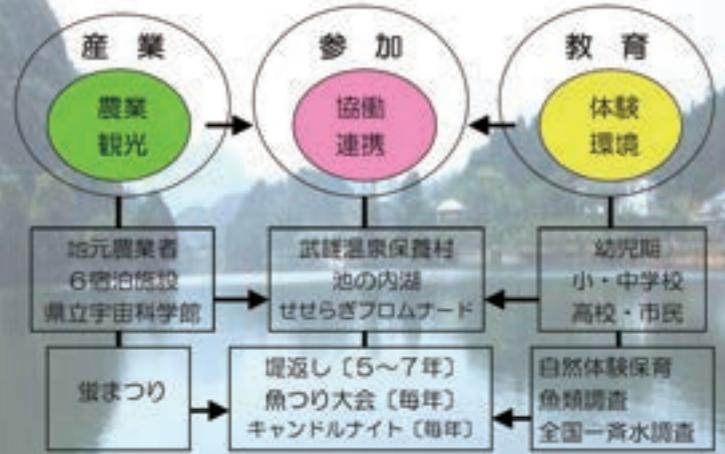
#### ■佐賀水ネット WEB サイト



「7月7日・水辺で乾杯」  
地元関係者・武雄河川事務所  
水ネット・市民

「せせらぎプロムナード」  
保育園児の水体験学習

### 池の内湖の产学官民の協働（低平地の水管理）



### 流域じまん

# コノハナロード

流域じまん

みやざき のべおか  
宮崎県延岡市



## 延岡市民応援隊

### 市民応援隊が活動をスタート

当初は、私の高校時代の同級生14人で作る「天下一ひむか桜の会」で細々と活動していましたが、毎日作業を続けるうちに、多くの方に応援頂けました。

宮崎県延岡市を流れる一級河川・五ヶ瀬川。延岡市役所より徒歩10数分。五ヶ瀬大橋近くに四季の花々を楽しむ事ができる公園「コノハナロード」があります。その管理を行う「NPO法人コノハナロード延岡市民応援隊」で活動する代表の松田さん、事務局の野々下さん、花づくり担当の山下さん、環境整備担当の神本さんにお話を伺いました。

### きっかけは同級生からの電話

松田：平成20年4月の事です。突然、関東在住の同級生から電話があり、「今、同級生達と河津町に桜を見に来ている。延岡にも河津桜を植えて、ふるさとの名所を作りたい。故郷を元気にしたい。」と言われました。「大変そうだな、うまくいくかな」とは思いましたが、友人達の思いを受け取り、活動を始めました。

岡市役所にもご協力頂きました。環境保護団体の「べおかアースデイ」や延岡市役所でも協力頂きました。そして、「五ヶ瀬川河川敷に桜と菜の花を植えるのはどうか?」という話になりました。

### 奇跡の堤防が誕生

しかし、当初は認めて頂けませんで、場所探しで苦労しました。環境保護団体の「べおかアースデイ」や延岡市役所にもご協力頂きました。そして、「五ヶ瀬川河川敷に桜と菜の花を植えるのはどうか?」という話になりました。

何回も何回も粘り強くあきらめないで通っているうちに、国交省の方で、一策講じて頂き、「堤防と一体的だが定義上は堤防ではない、堤防の定規断面に根が入らない場所なら植えても良い。」という許可を頂きました。

### 私が入れない場が桜の名所に

私は、この奇跡のような出来事を記念して「奇跡の堤防」と呼んでいます。

そして、ついに平成21年、延べ100人以上の市民の皆さんのが参加のもと、五ヶ瀬川堤防沿いに125本の桜を植える事が実現し、名所づくり活動がスタートしました。

そして、ついに平成21年、延べ100人以上の市民の皆さんのが参加のもと、五ヶ瀬川堤防沿いに125本の桜を植える事が実現し、名所づくり活動がスタートしました。



### 神話の里らしいネーミング

野々下：「コノハナロード」は松山橋から五ヶ瀬大橋の間、約1.3kmの区間です。その名前は、神話に出てくる「コノハナサクヤヒメ」から頂きました。延岡は神話の里。市内の愛宕山は、コノハナサクヤヒメと、ニニギノミコトが結婚の契りを結んだとされています。



### 「人が入れない場」が桜の名所に

ようやく場所を確保しましたが、そこには雑草が繁茂し、工事用のコンクリート片が置かれていて、まさに「人が入れない」場所でした。それら一つ一つを片付けて整備から行いました。

そこで、ついに平成21年、延べ100人以上の市民の皆さんのが参加のもと、五ヶ瀬川堤防沿いに125本の桜を植える事が実現し、名所づくり活動がスタートしました。

### 「人が入れない場」が桜の名所に

平成28年に、活動が広範囲になりました。

人コノハナロード延岡市民応援隊」を設立。平成31年には河川協力団体に認定されました。

### 花グループの活動

山下：私は松田さんが毎日堤防で苦労されている姿を見て、何か手伝えないかと感じていました。そして、春に賑わう「桜と菜の花の名所」が、一年中花を楽しめる堤防になるよう、花づくりを計画。付属緑地を3つ造らせてもらいました。

以来7年が経ち、現在は100種以上の花を育てています。ハナシノブやモモイロタンポポ等、延岡では珍しい花も育てています。嬉しい事に、散歩の方から花の苗や差し入れを頂いたり、話しかけられたりするようになりました。花づくりをして本当に良かったなと喜びを感じる瞬間です。

### 発信力でファン獲得

野々下：松田さんの武器は語りの面白さと文才です。インターネット上に、13年間、「今日は誰が来て、どんな作業をした。」という記事を書き続けています。そのおかげで、全国各地の仲間達が常に状況を把握できます。

そして、いつも松田さんは、活動を緩やかな目で見ていて「それは違う!」等とは絶対に言ないので、メンバーもお互いに尊重し合って前向きに活動できています。

方々にとつて必要とされる環境を作りたいです。

### 廃材を宝に変える

松田：毎日欠かさず活動しないと、

毎年協力してくれる地元の岡富中学校が、市内の小学校等で環境教育の教材として使われる「べおかの花さ

庫や流し台等を作りました。竹製などで見栄えも良いと好評です。私は、訪れた方が立ち止まり真剣に写真を撮る場所になるには?という目線を大切にしています。土から出たハート形の石を置き、探してもらうような仕掛けもして楽しんでいます。

人手が必要な作業は、毎月第1土曜日の「共同作業日」に行っています。私は阿吽の呼吸で活動しているので、新たな方が入りにくく感じる事もあるようですが、共同作業日があることで関わりやすい雰囲気が生まれ、応援団から実動部隊になるという面白い現象が出てきています。最近、新しい団体から手伝いの申し出を頂き、新たなサポートチームも誕生しつつあります。

### 「恩返し」共通の思いで夢が実現

実際、エリアを散歩する人も激増しましたし、小さな子どもから高齢者までが集まる憩いの空間になろうとしています。

松田：僕らが一生懸命活動しても、市に喜ばれないと意味がありません。今では散歩をしている方々からたくさん声をかけてもらえるようになります。評価される事は活動の原動力になりますね。

### 肌で感じる雰囲気の変化

この2年、花物語を開催できませんでしたが、めげてはならぬと毎日草刈りをしました。今まで長年継続できたのは、やりがい・生きがいをこの活動の中に持てたからこそ。この素晴らしい場所、活動を若い方に引き継いでもらえると嬉しいです。

この2年、花物語を開催できませんでしたが、やりがい・生きがいをこの活動の中に持てたからこそ。この素晴らしい場所、活動を若い方に引き継いでもらえると嬉しいです。

WEBサイト



Facebook



# Information 九州かわあそび情報

九州各地で開催される催しをご案内します。催しに関する個別の質問は、各問合せ先まで)

## 第21回九州「川」のワークショップ in 筑後

- 内 容:九州各地の河川で活動する団体の活動発表および交流会
- 日 時:11月26日(土)・27日(日)
- 会 場:大山文化センター(大分県日田市大山村西大山3598番地1)
- 参加費:無料
- 主催者:第21回九州「川」のワークショップin筑後実行委員会
- お問合せ:0942-45-5042/21krws@gmail.com(事務局:川嶋)

## 遠賀川水辺館カヌースクール

- 内 容:体操、ライフジャケットの着方、カヌーの操作の仕方、緊急時の対処の仕方など
- 日 時:6月~10月までの日曜日(夏休み期間中は土日)/10時~12時
- 会 場:遠賀川水辺館前の河川
- 参加費:小学生~中学生 500円/高校生以上 800円
- お申込:開催日の3日前までに申し込みが必要(電話申し込み可能)
- 主催者:NPO法人直方川づくりの会/0940-22-1810

## コスモス花鑑賞会

- 遠賀川支流黒川の河川敷を利用して、地元20以上の団体の参加の下、コスモスを栽培し、地元関係者、幼・保育園児や小学生を招き、コスモス花鑑賞会を実施。併せて、メッセージを付けたバルーンの放天。
- 日 時:令和4年11月初旬 10:00~
  - 会 場:遠賀川支流黒川(梅崎橋地先) ■参加費:無料
  - お申込:事前申し込み無し ■主催者:ふるさとまちづくりの会
  - 問合せ先:田代雄二郎 093-617-5469

## ナイトリバー in なかま 川づきあい交流会

- 5つの会場で牛乳パックやカップ等に灯を灯し、水辺の賑わいを創出します。
- 日 時:令和4年10月29日(土)/18:00~(雨天延期:11月5日)
  - 会 場:笹尾川(笹尾川水辺の楽校)/遠賀川(中島自然再生協議会)  
河口堰(響みどりの会)/折尾堀川(堀川再生の会・五平太)
  - 会 場:西川(遠賀町青少年育成町民会議) ■参加費:無料
  - お申込:事前申し込み無し ■主催者:なかま川づきあい交流会(5団体)
  - 問合せ先:遠賀川河川事務所中間出張所(田中)/093-245-0154

# 「九州かわとも」5号 | もくじ

## ■特集記事

●九州地方整備局 藤巻局長 インタビュー	1
■【シリーズ】川の先駆者たち	
●五ヶ瀬川流域ネットワーク/前理事長 土井裕子さん	9
■流域じまん	
●流域じまん① 白川夜市	11
●流域じまん② 六角川の魅力	13
●流域じまん③ コノハナロード延岡市民応援隊の活動	15
●協賛企業のご紹介	17
●各地のスケジュール/目次	18



【表紙の写真】

第4回九州川の風景フォトコンテスト  
川の楽しさ魅力を感じる写真「優秀賞」  
福岡県:高良川



【裏表紙の写真】

第2回九州川の風景フォトコンテスト  
季節を感じる写真「優秀賞」  
佐賀県:松浦川

# 川遊び情報誌「九州かわとも」を ご支援いただいている賛助企業様

## (株)有明測量開発社

〒860-4108  
熊本市南区幸田2丁目7-1

## いであ(株)九州支店

〒812-0055  
福岡市東区東浜1-5-12

## 応用地質(株)九州事務所

〒812-0018  
福岡市博多区住吉3丁目1番80号

## (株)大本組 九州支店

〒810-0041  
福岡市中央区大名2-4-30

## (株)奥村組 九州支店

〒805-8531  
北九州市八幡東区山王2-19-1

## (株)柿原組

〒810-0022  
福岡市中央区薬院3-4-21

## 株式会社川原建設

〒871-0434  
中津市耶馬渓町大字樋山路38

## 技研興業(株) 九州営業所

〒812-0007  
福岡市博多区東比恵2丁目20-25

## (株)九州開発エンジニアリング

〒862-0912  
熊本市東区錦ヶ丘33番17号

## 九州建設コンサルタント(株)

〒870-0946  
大分市大字曲936番地1

## (株)九州建設マネジメントセンター

〒812-0013  
福岡市博多区博多駅東2丁目5番19号

## 九州電力(株)

〒810-8720  
福岡市中央区渡辺通2丁目1-82

## (株)共同技術コンサルタント

〒880-0824  
宮崎市大島町山田ヶ窪1926-1

## (株)建設環境研究所 九州支社

〒812-0023  
福岡市博多区奈良屋町2番1号博多蔵本太田ビル7階

## (株)建設技術研究所 九州支社

〒810-0041  
福岡市中央区大名2-4-12

## 国際航業(株) 九州支社

〒812-0013  
福岡市博多区博多駅東3丁目6番3号

## 五洋建設(株) 九州支店

〒812-8614  
福岡市博多区博多駅東2丁目7-27

## 砂防エンジニアリング(株)

〒350-0033  
埼玉県川越市富士見町31-9

## 清水建設(株) 九州支店

〒810-0004  
福岡市中央区渡辺通3丁目6番11号

## 第一復建(株)

〒812-0006  
福岡市博多区上牟田1丁目17番9号

## (株)大進

〒890-0016  
鹿児島市新照院町21番7号

## 中央開発(株) 九州支社

〒814-0103  
福岡市城南区鳥飼6-3-27

## (株)東京建設コンサルタント 九州支社

〒812-0016  
福岡市博多区博多駅南2丁目12番3号

## 飛島建設(株) 九州支店

〒810-0004  
福岡市中央区渡辺通5丁目14番12号

## (株)西技計測コンサルタント 九州営業所

〒826-0041  
田川市弓削田見立3175

## (株)西日本科学技術研究所

〒780-0812  
高知市若松町9番30号

## 西日本技術開発(株)

〒810-0004  
福岡市中央区渡辺通1丁目1番1号

## 日鉄鉱コンサルタント(株) 福岡支店

〒820-0053  
飯塚市伊岐須1-356

## 日本工営(株) 福岡支店

〒812-0007  
福岡市博多区東比恵1-2-12

## (株)ニュージェック

〒531-0074  
大阪市北区本庄東2丁目3番20号

## パシフィックコンサルタント(株) 九州支社

〒812-0012  
福岡市博多区博多駅中央街7番21号

## (株)不動テトラ 九州支店

〒812-0011  
福岡市博多区博多駅前4丁目1番1号

## 松尾建設(株)

〒840-0842  
佐賀市多布施一丁目4番27号

## 松本技術コンサルタント(株)

〒871-0161  
中津市大字上池永1285-10

## 三井共同建設コンサルタント(株) 九州支社

〒812-0013  
福岡市博多区博多駅東2-14-1

## 牟田建設(株)

〒842-0103  
佐賀県神埼郡吉野ヶ里町大曲1756

## 八千代エンジニアリング(株) 九州支店

〒810-0062  
福岡市中央区荒戸2-1-5